

「マツダロードスター」を一部商品改良

ーインテリアにアルミ調パーツを採用、新 BOSE サウンドシステムを搭載ー

マツダ(株)は、オープンスポーツカー「ロードスター」を一部商品改良し、本日より全国のマツダ系、マツダアンフィニ系販売店を通じて発売する。



マツダロードスター1800 RS

「ロードスター」は、意のままに操る楽しさやオープンで走る爽快感、個性的なスタイルなどにより、マツダのブランドメッセージ「Zoom-Zoom(ズーム・ズーム:子供の時に感じた動くことへの感動)」を象徴するモデルである。また、「2人乗り小型オープンスポーツカー生産台数世界一」として、ギネスワールドレコードにも正式認定されている世界的ヒット商品であり、1989年の初代発売から68万台以上※を生産し、現在もなお好評を博しながら記録更新を続けている。

※ ロードスターは、1989年4月から生産開始し、2003年の7月末までに682,729台を生産している。

■ 今回の一部商品改良の主な特徴は以下の通り。

1. インテリア／外観のリフレッシュ

- ・ 全機種のインパネ&ドアトリムまわりにアルミ調パーツを採用し、スポーティかつエレガントなイメージとした。アルミ調パーツ:センターパネル、シフトプレート、エアベントベゼル、インナードアハンドル、パーキングブレーキレバーリリースボタン、メーター

リング等

- ・ エアロボードに 2 インチツイドラー(スピーカー) × 2 を内蔵
- ・ 布シート(ブラック)のシート表皮を変更、上質感のあるパイピング加工本革シートを採用。
- ・ スポーティな新デザイン 16 インチアルミホイールを採用。

2. 新 BOSE サウンドシステムをオプション設定

- ・ ロードスターの音響特性に最適な専用設計を施した BOSE サウンドシステムをさらにグレードアップした。新採用の 6 スピーカーシステムを 225W でドライブ。(現行 BOSE サウンドシステムは 4 スピーカーシステム/200W)。

3. ボディカラーに新色 3 色を新設定

- ・ チタニウムグレーメタリック II、ラディアントエボニーマイカ、ストラトブルーマイカの 3 色を新設定。

4. 装備内容の充実

- ・ 「M」に撥水ドアガラス & ドアミラー、「RS」にエアロボード & マルチメッシュボックス + 2 スピーカー、レザーパーキングブレーキレバーを標準装備。
- ・ 「NR-A」にパワードアロック、トランクオープナー付キーレスエントリー、エアロボード、AM/FM 電子チューナー + CD デッキ + BOSE サウンドシステムをメーカーオプション設定。
- ・ 全機種の運転席サンバイザーにバニティミラーを採用。

■ 車両本体の全国希望小売価格は以下の通り。

(消費税は含まず/単位:千円)

エンジン	機種	変速機	全国希望小売価格
1600 DOHC	M	5MT	1850
		4EC-AT	1993
	NR-A	5MT	2050
	SP	5MT	2000
		4EC-AT	2050
1800 DOHC	RS	6MT	2350
	RS-II	6MT	2455
	VS コンビネーションA	6MT	2400

		4EC-AT	2448
	VS コンビネーション B	6MT	2400
		4EC-AT	2448

なお、マツダは一部商品改良ロードスターの発売に合わせて、カリスマ的ヒップホップアーティスト:ZEEBRA(ジブラ)とのコラボレーション企画「TOUCH THE SKY-MAZDA meets ZEEBRA(タッチ・ザ・スカイ・マツダ・ミーツ・ジブラ)」を開始する。9月18日発売のZEEBRA 新アルバム「Tokyo's Finest(トーキョーズ・ファイネスト)」のプロモーション VTR に ZEEBRA がプロデュースし、ストリート仕様にカスタマイズされたロードスターが登場。さまざまなイベント、メディアでの露出を通じて共通のターゲット層である 20 代独身男性との接点拡大を図る。